

令和2年度第2回鶴岡市男女共同参画推進懇談会（会議概要）

- 日 時 令和2年11月10日（火） 14時00分～15時35分
- 会 場 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる 大会議室1・2
- 出席委員 伊藤眞知子会長、薄葉祐子委員、太田千香子委員、石塚正子委員
松浦尚宏委員、菊地喜好委員、加藤静香委員、吉住和子委員、
梅津眞弓委員、遠藤綾委員、岸井綾子委員、松本健一委員
- 欠席委員 五十嵐良二委員、矢花由紀子委員、阿部至委員
- 傍聴者人数 0名

1 開会

2 挨拶（伊藤眞知子会長）

3 協議（資料説明：企画部政策企画課）

（1）第2次計画における主な施策、具体的取組について

以下、委員発言の要旨 ※冒頭下線部は提案した主な施策（案）

「施策を推進する体制や、情報発信の拠点となる施設を整備します」について

- ・自主的な活動をする場合に、会場がなかなか借りられないことや、資金の問題が生じる。無料で借りられる施設を整備してほしい。
- ・施設は教育や情報発信の場ではあるが、現在はコロナ禍で気軽に集まることができず、今後も集まれない可能性がある。その場合、リモートでの対応が必要になると考えるが、想定しているか。

（事務局回答：市全体で、必要に応じてリモート開催や、密を避けての会場利用といった対応・配慮をしながら会議等を実施している。施設整備もそうした配慮の下進める。）

「全世代に向け、幅広く学習機会の提供に取り組めます」について

直接該当する意見なし

「児童・生徒一人ひとりの能力や個性を生かした学校教育を推進します」について

「学びや交流の機会を提供し、家庭での支え合いを支援します」について

- ・学校教育での取組が挙げられており、教育現場は多忙な状況と推察するが、学校で男女共同参画への意識付け等について実際に取組むということによいか。

（事務局回答：男女共同参画は基礎となる考え方であり、教育委員会でしっかりと取り組んでいく。）

「多文化共生の推進とともに、性的指向・性自認の多様性に関する情報発信に取り組めます」について

- ・性の問題で悩んでいる生徒にとって、中学校・高校では制服の問題がある。中学校において、女子がスラックスを選べるようにしてほしい。

「ワーク・ライフ・バランスの推進に向け、事業主・労働者に向けた情報提供を行います」について

- ・ワーク・ライフ・バランスに関しては、定時退社することや長時間残業をしない環境づくりが進められている。男性が早く帰られるようになれば、子どもの迎えなど家庭生活の役割を担い、女性の活動を支えていくことができる。市の計画についても、関係機関と連携して進めていく必要がある。
- ・現在、保育園では男性の迎えがとても多い。子どもの迎えが女性ばかりだという印象は持っておらず、男性が家事・育児をしている家庭は増えていると認識。
- ・自分の子育て当時は、保育園の送り迎えをする父親は同じ組に2人であったと記憶。しかし、子どもに現状を聞くと、今の育児の担い手は夫・妻半々くらいとのことで、時代は変わっているのだと感じている。

「意識改革や働き方改革を推進します」について

- ・市役所男性職員の育休取得率や子どもの迎えへの行きやすさについて、現状を伺う。
(事務局回答：男性で育児休暇を取っている職員は5名。職場において男性の育休取得等に否定的な意見はないものと考えている。今後、子の出生を控えた男性職員から早期に情報を得ること重視し、生まれる前から制度等の情報提供を行っていきたい。)
- ・市役所でのフレックスタイム制度実施について、取組経過を伺う。
(事務局回答：6月から本格実施しており、約150人程度が利用。早い出勤時間の希望が多く、退勤後の時間を子どもの迎えをはじめ家庭での役割に振り向けている様子。)
- ・産休の取得率はどうか。また、男性の育休取得状況に関してアンケートはあるか。
(事務局回答：産休はほぼ100%の取得率。男性育休取得者対象のアンケートは未実施だが、関連する内容で全職員対象のアンケートを行っている。今後、育休取得者へのヒアリングなどもしていきたい。)

「職業紹介や情報提供の充実を図り、求職者の希望に沿った就職を支援します」について

- ・職業紹介は市で一部実施しているが、市の計画の施策として「職業紹介」の表現とすることには疑問がある。主な施策案と取組との組み立てについて再度検討をお願いする。
- ・早期に仕事を辞める若年層の人も多いと感じるが、どのような仕事に就く場合でもチャレンジし続けられる環境がある鶴岡市であってほしいと考える。

「様々な産業で、意欲的に事業に挑戦する人を応援します」について

- ・農業に関する取組の案は「女性らしい仕事」の取組を支援する意図が見られるが、それだけでなく大型の農業機械の操作に関する支援等も必要と考える。例えば、機械操作に関する講習等については、女性はその案内を見る機会自体が少ない可能性があり、幅広い周知が求められる。

「高等教育研究機関や高い技術力・開発力をもつ企業集積を生かし、付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりを促進します」について

- ・レベルが高い人向けの表現に感じられる。普通の人や専門性を持っていない人についても、自信をもって働けるような支援やそうした意図の表現もあるとよい。
(事務局回答：この表現は、高等教育機関で一生懸命研究する研究者等の姿が、若者にとってこの地域で頑張りたいという刺激となることを狙いとしている。)

「しごとの魅力を効果的に発信し、若者の地元定着・地元回帰を促します」について

直接該当する意見なし

「コミュニティ組織の運営や、地域活動の担い手・リーダーの育成を支援します」について

- ・地域活動やPTA活動は、行事が多すぎると家族との時間が少なくなる恐れもあり、参加対象となる子育て世代への配慮のもと運営していくことが大切である。

「地域における女性の参画をより一層促し、その活動を支援します」

直接該当する意見なし

「市の審議会等において、構成員の男女比率に配慮するなど適切な運営を行います」について

- ・クオータ制（主要役職等の一定数を女性とする仕組み）導入などの動きについて、女性の意見の反映という目的は理解できるが、対象となる女性の家庭生活等に過度な負担が生じることを防ぐ必要がある。また、会議等に参加しづらい時間に設定しないことなど、女性のライフサイクル等に対する配慮についても求められる。
- ・経団連が会員企業の女性役員割合を3割以上とする目標を立てた旨の報道があった。「黄金の3割」といった言葉もあるように、一定程度の効果が期待される。
- ・いきなり数値目標を掲げるのではなく、マインドを育てることから取り組み、それから役職等に就いてもらうような進め方も必要である。

「子育て支援サービスや保育環境のさらなる充実を図ります」について

「結婚・出産を望んでいる人を応援します」について

- ・市内に産婦人科医院が3院と少ないことは、出産の不安につながりかねない。助産院での出産の経験を通してその利点を感じており、そうした出産の選択肢や産後のケアに関するサポートがあるとよい。
- ・助産院での出産が全般的にいいことのように言われる場合があるが、母親が出産に向けた身体づくりをしない場合などには危ないことがある。

「ひとり親家庭の生活の安定に向け、子育てや就労などの問題解決を支援します」について

- ・ダブルワークが増えており、夜勤の際に子どもを預けられる場所がないという問題がある。一時的な預かりではなく、継続的な夜間の保育の仕組み・支援があるとよい。
- ・ダブルワーク等で一日の労働時間が長い場合でも、雇用保険は1事業所でしか加入できない。金銭的な支援がないとダブルワークの労働者が倒れてしまうという懸念が生じている。

- ・離婚後などのお金に関する相談も多い。借入れは避けたいとの意識もあるため貸付制度ではなく、すぐに使える給付金や家賃助成があれば手助けとなる。

「妊娠・出産への健康支援をはじめ、疾病予防対策や健康づくりに取組みます」について
直接該当する意見なし

「性に関する正しい知識の普及啓発と教育に取組みます」について

- ・性的指向・性自認については日本で普及しておらず、適切な教育方法がわかりかねている。講義等で招くことのできる専門家・講師等について、教育機関に対しても情報発信をしてほしい。
- ・女子学生が生理への対処に関する知識を十分に持っていない可能性が窺われ、働きながら50年程度付き合うこととなる生理痛への対処方法は必須の知識であるが、小中学校での教育だけでは足りていないと思われる。生理や女性のライフサイクルに関して、一般市民向けだけでなく教育機関や教員への情報提供の機会を設けてほしい。
- ・性教育に関しては、女性の身体が傷つくような行為等の現実について小さいうちから学ぶことが重要で、教育の中でしっかり機会を確保する必要がある。

「高齢者が介護予防に取り組む機会や、生活を支える体制の充実を図ります」について

「障害者の生活を支える環境整備と、社会参加の促進に取り組みます」について

直接該当する意見なし

「暴力への認識を深め、予防や適切な行動を促す教育・啓発活動に取り組みます」について

- ・DVの当事者は配偶者という印象が強いが、高齢者の暴力・虐待や男性の被害者が増えているほか、家族・祖父母への暴力も増加している。
- ・SNSやメールでの相談が増えており、継続して接点を持ちながら対応するためにそれらをうまく活用したいと考えている。
- ・市民に広くDVを知ってもらうため、無料の講座や講演等の機会を提供してほしい。

4 閉会